

令和8年3月9日

保護者の皆様

新居浜市立高津小学校
校長 高橋 美鈴

令和7年度 学校評価について

仲春の候、日頃は本校の教育活動にご理解やご協力をいただきありがとうございます。

さて昨年12月に、保護者の皆様にご回答いただいたアンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。保護者様からいただいた学校評価の結果を来年度の学校運営に生かし、更に本校の教育活動を充実したものにしていきたいと考えております。

来たる4月から始まる令和8年度も、引き続きご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1 アンケート回答率 61.4% (令和7年12月8日～25日オンラインによる実施)

2 全12設問の結果概要

〔設問1〕 児童は、楽しい学校生活を送っているか			
できている	大体できている	あまりできていない	できていない
52.9	42.5	3.4	1.2
〔設問2〕 児童は、家庭や地域で、挨拶や返事ができているか			
31.4	57.1	11.2	0.3
〔設問3〕 児童は、友達を大切に、仲良く生活できているか			
53.1	42.5	2.8	1.6
〔設問4〕 児童は早寝早起き・朝ごはんなどの生活習慣を身に付けることができているか			
43.2	41.6	12.7	2.5
〔設問5〕 児童は、基礎的・基本的な学力が身に付いているか			
25.8	57.5	14.9	1.8
〔設問6〕 児童は、家庭学習（宿題、読書など）の習慣を身に付けているか			
32.3	49.4	16.5	1.8
〔設問7〕 学校は、楽しくよく分かる授業に努めているか			
40.4	53.7	4.3	1.6
〔設問8〕 学校は、ICT（タブレットや電子黒板等）を効果的に活用しているか			
38.2	54.7	5.9	1.2
〔設問9〕 学校行事や参観日は、適切に行われているか			
63.7	34.2	2.1	0.0
〔設問10〕 学校は、安全・安心な学校づくりのため安全指導や避難訓練、環境整備などに努めているか			
53.4	43.8	2.5	0.3
〔設問11〕 学校は、児童や保護者の方の悩みや心配なことに対して相談しやすい雰囲気か			
42.6	49.4	6.8	1.2
〔設問12〕 コミュニティ・スクールとして学校と地域が一体となって、子どもたちの教育を行うことができているか			
35.7	56.8	5.9	1.6

アンケートの結果および自由記述からの学校評価における良い点と課題と改善について

1 全体総括

自由記述からは、本校が「子どもに寄り添う教育」「前向きで温かな学校風土」「多様で質の高い体験活動」において高く評価されていることが明らかとなった。一方で、施設環境、学級運営の安定性、いじめ対応の透明性、PTA活動の在り方、保護者負担への配慮などについて改善を求める声も一定数見られた。

2 良い点と改善点

◎ 主な良い点

- ・ 明るく前向きなリーダーシップによる校長の迅速で誠実な対応
- ・ 担任・管理職・教職員が連携し、子ども一人一人に寄り添う指導
- ・ 学校ブログやホームページによる丁寧な情報発信
- ・ 著名人や専門家を招いた講演・体験活動など、豊かな学びの機会
- ・ 子どもが「学校が楽しい」と感じ、安心して登校できている点

● 主な改善点と・改善策

① トイレ等の老朽化・衛生面を中心とした施設環境改善への要望

- ・ 日常清掃に加え、定期的な重点清掃・点検日を設定し、衛生状態の改善を図る。
- ・ トイレ改修について教育委員会等に改善を要望している。今後も継続して要望を続ける。
- ・ 早急に改修が難しい箇所については、応急的な改善を実施する

② 学級運営や学習指導（計画帳・宿題・授業理解）への不安

- ・ 指導について、担任任せにせず学年・学校としての共通ルールを設定する
- ・ 学級の不安定な兆候に気付いた場合には、管理職や学年団での早期共有・複数教員による支援体制を取る。
- ・ 授業理解に不安がある児童には、個別フォローや学習相談の機会を確保する。

③ いじめ・人間関係トラブルへの対応の分かりにくさ

- ・ いじめやトラブルが発生した際の対応の流れ（把握→指導→再発防止）を明文化し、保護者に共有する。
- ・ 被害児童への支援だけでなく、加害児童への指導・振り返り・再発防止指導を組織的に実施する。
- ・ 集団に入りにくい児童に対して、教員からの意識的な声掛けや居場所づくりを行う。
- ・ 教職員の言動に関する相談については、客観性を保つため、管理職が複数で対応を行う。

④ 参観日や行事日程への配慮不足、参観環境の課題

- ・ 参観日については、共働き世帯や多様な働き方をされている保護者の方が増えていることを考慮し、日程の多様化について検討していく。
- ・ 参観日の授業中の保護者の私語については、事前のお知らせや当日の簡単なアナウンスで協力を呼びかける。

⑤ PTA活動の任意性や負担感

- ・ PTAが任意加入であることを明文化し、共通理解のもと誤解のない運営を行う。
- ・ 活動内容を精査し、負担の大きい役割や慣例的な活動の見直しを進める。
- ・ 短時間・オンライン参加など、多様な関わり方を選べる仕組みを検討する。
- ・ 学校としてもPTAと協議し、無理のない持続可能な組織運営を支援する。

⑥ その他

- ・ 服装のきまり（防寒着等）については、目的や意図を明確にした上で、実態に応じた柔軟な運用を検討する。
- ・ 全職員に対し、接遇や保護者対応に関する共通理解・研修の機会を設ける。
- ・ 登下校時の安全については、警察、地域と連携し、継続して見守り活動を行う。